

インクジェット用のびるシール(白)

この度は、サンワサプライのインクジェットのびるシール(白)をご購入いただき、誠にありがとうございます。この用紙はインクジェットプリンタで印刷した画像を曲面のある商品にぴったり貼ることのできるシール用紙です。この用紙を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

マウスや携帯電話、ペンなど、曲面のあるものにも貼り付けます。

耐水性ではありませんので、水に濡れるものや水に濡れる場所でも使うものへのご使用は避けてください。

のりが残るとの不具合をおこる可能性がありますので、うきやフリップシール形状など、塩ビコーティング製品はこのシールを貼り付けてはなりません。
一度シールを貼ると簡単にはがすことのできるシールですので、のりが残ると困る高価なものなどは貼らないでください。

貼るもの色について



シールは下地の透けのない特殊な膜を覆っているため、貼るものが黒や赤などの濃色でも下地が透けて見えません。
また、どんなものにもシールが貼れます。
※白部分(印刷のない部分)は、そのまま白(透けのみの)で残ります。印刷のない部分に貼ると、白く残りますのでご注意ください。

使用方法

準備するもの

貼り付けるもの

+

のびるシール
JP-TA10STWA6

+

のびるシール.....4枚

はさみ、
カッター

1 印刷について あらかじめデザインをします。その後、シールの表面にプリントします。

- プリンタについて**
おすすめプリンタは以下のとおりです。
- | E | S | フォト・マルチジェットプリンタ(PMシリーズ) | |
|--|---------|-----------------------------|--------------------------|
| PM-4000PXなどの顔料系インクには対応しないマルチジェットプリンタ(MJシリーズ) | | | |
| K | ヤ | ノンブラジェットプリンタ・ワープロ | |
| (PMシリーズ・MJシリーズ・BJシリーズ) | | | |
| H | P | カラーインクジェットプリンタ | |
| (デスクジェット・デスクライタシリーズ) | | | |
| N | E | C | カラーインクジェットプリンタ(ピクチャシリーズ) |
| L | レ | ックスマーク | カラーインクジェットプリンタ |
| W | 富士ゼロックス | カラーインクジェットプリンタ(JetWindシリーズ) | |
- 印刷について**
1)印刷サイズを必ず「はがき」にしてください。
2)1枚の用紙に2枚が貼れます。捺送性をよくするために2mm程度スペースを空けて印刷してください。
3)この用紙は手差しで1枚1枚印刷してください。(プリンタ機種によっては、厚紙モードで使用してください。)
4)使用するプリンタの機種により必ず事前に濃淡の差があることがあります。その場合は、各種機の取扱説明書に正しい濃度調整を行ってください。また、プリンタ各種に応じたカラー・トランス・カン・補正・各色の濃度などを調整してください。
5)下記の使用設定に従い、印刷します。
6)シールを貼る面の水分を半分、ゴミやホコリなどの汚れを取り除いてください。印刷がないからお好きな形にカットしてシールを貼ってください。(貼り方については、裏紙側の裏面を参照ください。)

用紙設定・モード設定(例)
用紙の特性上、写真画像を100%再現する精度は印刷にはつきません。

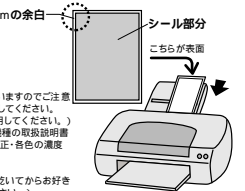
プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン	1 専用光沢フィルム	きれい/スーパー(ワン)/最良画質
キヤノン	1 光沢フィルム	きれいな印刷/印刷/高画質/最良画質
HP・NEC	2 HP/レミアムプラスオフ用紙	高精度/ベスト/高画質
富士通・レックスマーク	1 光沢フィルム	ベスト/高画質

約2mmの余白

こちらが裏面

用紙設定について
用紙自体は捺送性をよくするためのはがきサイズより少し大きめですが、「はがきサイズ」を選んでください。

用紙特徴
用紙の種類、紙紐の仕方によって印刷範囲がずれることがあります。普用紙を貼ってテスト・プリンタを行い、印刷範囲を調整してください。また、その際は各プリンタのメニュー画面に従ってください。



2 十分に乾燥させます。

印刷後はインクが完全に乾くまで印刷部には触れないように、またシール同士を重ねないようにしてください。色移りが発生するおそれがあります。シール同士を重ねる際には、完全に乾いてから、必ずシールとシールの間に普通紙をはさんでください。(1時間以上乾燥させると、普通紙をはさんでもくつがなくなります。)完全に乾いた後でもできるだけ印刷部には触れないようにしてください。

- ご注意**
- ・シールをカットするときは、インクが完全に乾いてからカットしてください。また、印刷部分を避けてカットしてください。
 - ・接着体の水分、油分、ゴミなどをよく取り除いてからご使用ください。凹凸のある面や曲面に貼るときには、十分にご手などでシールの上から圧力をかけてください。接着体によってははがれてしまう場合があります。
 - ・一度貼ってからのシールには剥がすことはできませんが、強粘着剤を使用していますので、はがした時ののりが残ると困る被着体には貼り残さないでください。
 - ・印刷した部分に長時間触れていると、手の汗やこすれなどが原因となって印刷部分が変色・摩擦する場合があります。予めご了承ください。
 - ・このシールは、約1.5倍伸びますが、引っ張りすぎると破断する恐れがありますので、必要以上に大きく伸ばす必要がある箇所へのご使用は避けてください。
 - ・直射日光など強い光や熱が長時間加わる場所に貼られた場合、印刷部分が変色・退色することがあります。

3 シールを貼ります。(例:携帯電話の場合)



貼るものを用意します。
インクが乾いているのを確認の上、シールを貼るものより少し大きめにカットしてください。(余白部分を意図することをおすすめします。)シールをはがして、空気を入れないよう指を付けて裏面に貼り付けれます。真ん中、はしの方向へ貼っていくと空気が入らずキレイに仕上がります。万が一、空気が入ってしまったら、その部分をしっかりと、再度貼り直してください。その時、軽く引っ張りながら貼るとキレイに貼ることができます。何度も貼らざるをくつがならないように、細心の注意を払ってください。
全体と十分貼れたら余白部分を切っていきます。(余白部分が大きすぎるなど切りにくいものであれば、予め少し小さめにしておくと貼りやすくなります。少しずり、貼るものがキズにつながるよう、カッターをあてて切り取ります。切り取る部分を何度も軽く触らせてゆくりと切り取ってください。切り取り部分を引くと、切り跡と残る(なので、ゆくりと余分な部分を切り取ってください)。

使用上の注意

- 裏面など、汗などで濡れたものや衣服にこのシールが接し、圧力がかかること、色移りが生じるおそれがあります。ご注意ください。シールをカットするときは、インクが完全に乾いてからカットしてください。また、印刷部分を避けてカットしてください。接着体の水分、油分、ゴミなどをよく取り除いてからご使用ください。凹凸のある面や曲面に貼るときには、十分にご手などでシールの上から圧力をかけてください。接着体によっては剥がれてしまう場合があります。一度貼ったものシールには剥がすことはできませんが、シールには強粘着剤を使用していますので、はがした時ののりが残ると困る被着体には貼り残さないでください。
印刷した部分に長時間触れていると、手の汗やこすれなどが原因となって印刷部分が変色・摩擦する場合があります。予めご了承ください。耐水性ではありませんので、水や水滴、その他の液体が付着する印刷内容がじんだり流れ落ちたりすることがありますのでご注意ください。このシールは、約1.5倍伸びますが、引っ張りすぎると破断する恐れがありますので、必要以上に大きく伸ばす必要がある箇所へのご使用は避けてください。
直射日光など強い光や熱が長時間加わる場所に貼られた場合、印刷部分が変色・退色することがあります。
プリンタによって印刷可能領域が異なります。各種機種の取扱説明書をご確認ください。
印刷前にシールをはがすことはプリンタトラブルの原因になりますのでご注意ください。
シール面に汚れや指痕が付かないよう指の指を動かさずにしてください。印刷の際にインクがまわらないこととなります。またこの紙、用紙の裏面が状況に準じたように注意してください。
印刷面をこすらないで、傷つけず、折り曲げないでください。
用紙が強くカールしたり、シワにならないように取り扱ってください。ワー、カールしたり必ずカールを直してからご使用ください。またこの紙、万年筆や水性ペンで書くことにはご注意ください。
コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。水濡れや直射日光・紫外線により、印刷部分が変色することがあります。
プリンタの種類、印刷モード、インク・ドライバ(ソフト)などにより、画像色・画像の精度が変更することがあります。
用紙は必要に応じて取り出し調整後はなるべく早めにお使いください。

保管上の注意

- このシールは湿気を吸いやむ性質を持っていますので、使用する直前に袋から出してください。シールの上に強いものをのせたり、圧力をかけたりしないでください。
使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかわらないようにして、水平に保管してください。外で長い時間保管してしまいますと、反りが生じたりのびる変色の可能性があります。
高温、高湿度、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れが強い場所などでは保管してはなりません。
開封した直後にシールが乾燥し、高温になる条件の下にある場合は保管してください。
開封後はなるべく早くにお使いください。